

✿ がんは死亡率第1位の病気

がんはあらゆる病気のなかで最も死亡率の高い病気で、長年日本人の死因第1位を占めています。

がんの恐ろしいところは、初期の段階ではほとんど自覚症状がないということです。そのため、発見されたときにはすでに進行していたというケースも少なくありません。

✿ 早期発見・早期治療が大切です

日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで命を落としています。「がんになったらもう治らない」と思うかもしれませんが、現在は治療法が進み、がん検診を受けて早期に発見し、早期に治療すれば治る確率も高く、軽い治療で済むようになってきました。

✿ 近くの会場でがん検診が受けられます

がんを早期に発見するためには、定期的ながん検診を受けることが重要です。市では皆さんの健康を守るため、市内の各会場でがん検診を実施しています。

総合健診(予約制)	特定健康診査やがん検診がまとめて受診できます。胃がん検診を希望する方は、総合健診の予約申込みをしてください。	
一般・早朝健診(予約不要)	特定健康診査やがん検診(胃がん検診除く)がまとめて受診できます。健診会場に直接お越しください。	
女性の検診(予約制)	子宮頸がん検診 乳がん検診	【個別検診】医療機関で行う検診です。 【集団検診】市内の各会場にて検診車で行う検診です。
	骨粗しょう症検診	6月に健康増進センターで行う検診です。

健診(検診)の日程、受け方(申込方法)などの詳細につきましては、3月に配布した「平成29年度版健康カレンダー」または4月下旬に発送した平成29年度健診(検診)受診券をご覧ください。

ご自身のため、大切な人のために
定期的ながん検診を受けてください



がん検診については、市ホームページをご覧ください。



市健康増進センター ☎ 32-7890

年に1回はがん検診を受けましょう！

鬼怒川緊急対策プロジェクト進行中!

国、茨城県、結城市など7市町が主体となり、ハードとソフトが一体となった緊急的な治水対策を実施中。



■「平成27年9月関東・東北豪雨」では、観測史上最多の雨量を記録するなどし、鬼怒川下流域においては、1カ所の堤防決壊、7カ所の溢水が生じたほか、堤防の漏水や護岸崩壊などの被害が発生しました。

■大きな被害が発生した鬼怒川下流域(茨城県区間)において、「水防災意識社会」の再構築を目指し、国、茨城県、結城市など7市町が一体となり、緊急対策プロジェクトを実施中です。

ハード対策

(堤防整備など)

■再度災害防止に必要な河川整備を緊急的、集中的に実施。

【鬼怒川(直轄事業:国土交通省)】

【主な事業内容】
・堤防整備(かさ上げ・拡幅) ・河道掘削
【事業期間】平成27年度～平成32年度
【事業費合計】約580億円

【八間堀川など(補助事業など:茨城県)】

【主な事業内容】
・堤防整備(かさ上げ・拡幅) ・河道拡幅
【事業期間】平成27年度～平成29年度
【事業費合計】約23億円

ソフト対策

(円滑な避難の支援)

■住民の避難を促すためのソフト対策を沿川自治体と連携して実施。

【主な事業内容】

- ・タイムラインの整備とこれに基づく訓練
- ・市町、水防団、地域住民などが参加する危険箇所の『共同点検』の実施
- ・ハザードマップおよび家屋倒壊等氾濫想定区域の公表と住民への周知とこれに基づく訓練
- ・関係機関の参加による広域避難に関する仕組みづくり

鬼怒川緊急対策プロジェクトホームページ



市土木課 ☎ 34-0426

平成29年4月末時点工事実施状況



平成29年3月末で、34工事が完了しました。
平成29年4月末時点で、26工事が稼働中です。